

事業名：交通標識設置事業

市民生活課 交通防犯係

政策	04 安全で快適な都市生活の充実								
施策	01 安全な暮らしの確保								
基本事業	01 交通安全の推進								
開始年度	昭和47年度	終了年度	—	実施計画 事業認定	非対象	会計区分	一般会計	補助金	

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
市民（自動車運転者・自転車利用者・歩行者）	
手段（事務事業の内容、やり方）	
<ul style="list-style-type: none"> ・住宅地などで、交通危険箇所と思われる地点に注意喚起看板を設置 ・通学路上の横断地点にストップマークを設置し、横断時の左右確認を促す 	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
<ul style="list-style-type: none"> ・交通危険箇所と思われる交差点等で、自動車運転者・自転車運転者・歩行者に危険を察知させ交通事故を未然に防止する。 	

指標・事業費の推移						
区分		単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度当初
対象指標1	市民	人	121,705	121,385	120,802	120,802
対象指標2						
活動指標1	「注意喚起」標識・サインの設置検討箇所	箇所	8	11	3	20
活動指標2						
成果指標1	「注意喚起」標識・サイン設置数	箇所	8	17	4	20
成果指標2						
事業費(A)		千円	211	189	155	224
正職員人件費(B)		千円	401	401	391	391
総事業費(A+B)		千円	612	590	546	615

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
25年度	<ul style="list-style-type: none"> ・住宅街の交差点、公園の近隣等の交通危険箇所と思われる地点に注意喚起の看板を設置する。 ・ストップマーク（横断する際の左右確認を児童に促すマーク）を通学区域内の交差点などに貼付。 	<ul style="list-style-type: none"> ・消耗品費156千円 注意喚起看板購入費：10枚79千円 ストップマーク購入費：90枚77千円

事業を取り巻く環境変化	
事業開始背景	
昭和47年春の全国交通安全運動実施要綱（内閣府）の中でゾーンの指定が示され、本市においても同様の取組を推進してきた。	
事業を取り巻く環境変化	
近年、地域からの信号機・横断歩道の設置など、交通規制に関する要望が多くなってきており、市としても所管である北海道公安委員会に要望しているところだが、新規設置が難しい状況となっており、市としては地域の要望により、注意喚起看板の設置に努めているところである。	

平成25年度の実績による担当課の評価（平成26年度7月時点）	
(1) 税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？	
<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 妥当性が低い	理由根拠 交通安全対策基本法第4条は、地方自治体に、区域内の住民の生命、身体及び財産を保護するため、交通安全に関する施策を講じる責務を定めていることから、妥当である。
(2) 上位の基本事業への貢献度は大きいですか？	
<input checked="" type="checkbox"/> 貢献度大きい <input checked="" type="checkbox"/> 貢献度ふつう <input type="checkbox"/> 貢献度小さい <input type="checkbox"/> 基礎的事務事業	理由根拠 北海道公安委員会が所管する信号機や交通標識等の新規設置が進まない中で、地域の実情に応じた交通安全対策として、交通安全の推進に貢献している。
(3) 計画どおりに成果は上がっていますか？計画どおりに成果がでている理由、でていない理由は何ですか？	
<input checked="" type="checkbox"/> 上がっている <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば上がっている <input type="checkbox"/> 上がらない	理由根拠 交通規制のような法的拘束力はないが、市内での交通事故発生件数が減少しており成果は上がっている。
(4) 成果が向上する余地（可能性）がありますか？その理由は何ですか？	
<input type="checkbox"/> 成果向上余地 大 <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上余地 中 <input type="checkbox"/> 成果向上余地 小・なし	理由根拠 ストップマーク設置箇所を見直し、更に適正化を図ることで成果向上が可能。26年度では市内19小学校からの意見を取り入れた見直しを実施する。
(5) 現状の成果を落とさずにコスト（予算+所要時間）を削減する方法はありますか？	
<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> なし	理由根拠 ストップマークは、既製品を活用。購入時にまとめて発注することで単価を抑えているがこれ以上のコスト改善は難しい。